

平成21年度第2回福岡県がん診療連携協議会議事録

日 時	平成21年10月26日（月） 14時00分～15時50分
場 所	九州大学病院検査部会議室
出席者 35名	別紙出席者名簿のとおり
九州がんセンター（院長）	<p><b>1) 開会の挨拶</b>          ただ今より平成21年度第2回福岡県がん診療連携協議会を開会いたします。今回は会場を九州大学病院にお願いしました。ありがとうございました。それでは議事次第にそって進めていきたいと思ひます。</p>
九州大学病院（院長）	<p><b>2) 開催病院長挨拶</b>          本日はお集まりいただきありがとうございます。九州大学病院は、九州がんセンターと一緒に拠点病院として研修・教育の担当をしています。先日、市民公開講座を開催いたしまして大勢の方に参加していただきました。今後も続けていきたいと考えています。本日は実りある会になることを期待して挨拶にかえたいと思ひます。</p>
福岡県(中原)	<p><b>3) 各専門部会の現状報告</b>  <b>①地域連携・情報専門部会</b>          (1) 福岡県のがん診療連携の推進体制について          先生方には日頃よりご協力いただきありがとうございます。          福岡県のがん診療連携の推進体制としては、福岡県がん対策推進協議会の下に福岡県がん診療連携協議会と福岡県医師会がん診療連携運営委員会があり、連携して活動していただいています。当初、福岡県がん診療連携協議会の地域連携・情報専門部会のワーキングチームで5大癌の連携パスの作成を進めてもらっていましたが、福岡県医師会がん診療連携運営委員会の福岡ブロックでも胃癌・大腸癌のパスを作成しているということで、一旦ワーキングチームの活動をストップしてもらいました。しかしながら残り3つのパス作成が進まないことから、再度ワーキングチームでの作成と地域への普及をお願いしたいと思ひますので、よろしくお願ひいたします。</p>
九州がんセンター（藤）	<p>(2) 地域連携パスに関する活動報告と今後の推進方針について          概要についてはスライド（別紙）にて説明。          福岡県の説明のとおり、再度ワーキンググループで作成することとなりますので、ワーキンググループを再結成することになります。          福岡ブロックがん診療連携協議会は、福岡市医師会を中心に福岡ブロック地域がん診療拠点病院が4病院、一般がん診療病院が8病院、それにオブザーバーとして九州大学病院、九州がんセンター、福岡県医師会にて構成されています。現在も活動はして、胃癌・大腸癌のパスについてはあらかじめ作成されています。がんの地域医療連携アンケート（福岡県）を実施させてもらいました。福岡県医師会全会員（7,601名）にアンケートを送付し、回答があったのが2,653名（34.9%）でした。（アンケートの結果については別紙参照）このアンケートの目的は、5大癌の地域連携パスの作成が始まったんだということを知っていただくのが大きな目的であります。          「地域連携クリティカルパスのために用意するもの」として別紙のものがありますが、福岡ブロックで案を作成していますので、みなさんにお渡しすることができるようになると思ひます。</p>

	<p>今後、各ブロックにおいて地域へ普及させていかなくてはなりませんので、ワーキンググループを再結成させたいと思います。かなりメンバーも替わられたと思いますので、再度人選をお願いして近いうちにワーキンググループの活動を再開したいと思いますので、よろしくお願ひします。</p> <p>県全体、各ブロック全体で進めていくのはなかなか難しいので、とりあえず各ブロック毎に拠点病院、中核病院、医師会を含めた協議会みたいなものが作れないかと思っています。</p> <p>地域連携クリティカルパスだけではありませんが、こういった動きがあるということを通じて普及させるためにも、拠点病院間の連携、中核病院への拡大、さらにはパスの分析も必要となってくるので、「相談支援センター・地域医療連携室のミーティング」を開催する必要があると思います。</p> <p>支援組織であります「福岡県がん地域医療連携研究会」も来年2月5日に予定していますが、今までのような特別講演は行わず、具体的な活動についてディスカッションできればと思っています。</p>
福岡大学病院 (田村)	<p>医師会の関係で一旦ワーキンググループの活動をストップしたわけですが、今までの経緯を考えると、がん診療連携運営委員会の了承を得ずに活動を再開しているのですか。了承は得てあるのですか。</p>
九州がんセンター (藤)	<p>先程、県の方から再度当専門部会のワーキンググループで進めていくように話がありましたように、「福岡県がん対策推進協議会」としては了承されていると思いますが、「福岡県がん診療連携運営委員会」には話がっていないと思いますので、当協議会の方より了承を得たいと思います。</p>
久留米大学病院 (山名)	<p>久留米の方では既に乳癌が始まっている。医師会と話をして、できることから広げていって、一つ始めればだんだん他のも進んでいこうということをやっている。胃癌・大腸癌はできあがっているのですか。できあがっているのであれば、それを配っていただければ進んでいくと思います。</p>
九州医療センター (村中)	<p>県とかブロックから指示があるわけではないし、待っていては始まらないので、できたものから始めれば良いのではないかと。</p>
九州がんセンター (藤)	<p>こういったやり方を行っているところでは、千葉は参考になりませんので、大阪を参考にしたら良いと思います。とにかくワーキンググループを再結成して進めていきたいと思っていますので、ご協力よろしくお願ひします。</p>
	<p><b>②がん登録専門部会</b></p>
九州がんセンター (西山)	<p>(1) 2007年院内がん登録</p> <p>院内がん登録で今後進めなくてはならないことが二つあります。一つは、現在各病院から国立がんセンターに提出していただいたデータが帰ってくるのを待っている状態ですが、まだ帰ってきていませんので、帰ってきたデータを福岡県としてどう分析していくかを専門部会を開催して検討したいと思っています。</p>
九州がんセンター (西山)	<p>(2) 予後調査</p> <p>もう一つ大事なことは予後調査です。最初に予後調査のデータを提出しなければならないのが、2007年度分の3年後の2011年12月です。2年後には提出しなければならないので、1年で予後調査のシステムを作り上げて残り1年で調査するというスケジュールになると思います。予後調査を行うにあたり、同意書が無くても自治体に依頼できるようにするのが目標ではありますが、なかなか難しいところもあり同意書をどうするかということも議論していくことになると思います。自治体に依頼するのは最後の手段ということで、まず各病院での院内予後調査の徹底をお願いします。死亡された方など、同意書が取れない方も必ずいらっしゃるの、基本的には同意書不要で住民票調査ができるように進めていきたいと思っています。</p>
九州医療センター (村中)	<p>各病院で分からなかったものだけを県とかに住民票を依頼するのか、それとも県に予後調査を全てしてもらえらるようなシステムができあがるのですか。</p>

九州がんセンター（西山）	各病院で分からなかったものだけを各市町村とかに住民票を依頼することになります。基本的には各病院単位で自治体に依頼してもらうこととなりますが、今までは同意書が無いと自治体が教えてくれなかったが、予め県より自治体をお願いをさせていただいて、その上で各病院と県、協議会の連名で依頼文書を発行してもらうように考えています。
九州大学病院（水元）	九州大学病院における生存確認調査の現況を話します。 1. 院内死亡退院症例・・・調査時までの死亡退院情報を収集 2. 最終生存確認日（最終来院日）・・・医療情報部よりリストを収集 3. 診療科調査依頼・・・死亡情報のみの提供 4. 紹介医療機関との連携 5. 住民票照会 当院の現状では、診療科調査依頼まで行っても予後判明率は約80%であり、90%を達成するには住民票照会が必要となってくる。住民票照会には同意書が必要となってくるので、県内統一の同意書を作ってはどうかと思えます。
福岡県（櫻木）	福岡県がん登録事業に係るアンケート調査を21年7月に行いました。概要については別紙にて説明。 ・本人同意書がない場合の生存情報の提供 可能11%、不可能52%、審査会への諮問14%（個人情報保護）、その他23%（使用目的記載の公文書による依頼等） 調査について県より依頼の文書を提出し、どうすれば可能になるか具体的に検討していきたいと考えています。 ・がん登録事業と個人情報の保護に関する意見 きちんとした法整備が必要である。 統一した請求様式があれば良い。 がん登録の必要性及びその活用方法がわからない。 今年度中には、方向性を決めていきたいと考えていますので、協力をよろしくお願いします。 10月、拠点病院に院内がん登録の予後調査実施状況を尋ねています。 実施9病院、準備中3病院、未実施3病院となっています。
九州がんセンター（院長）	現状では国での法整備は難しいと思うので、県の条例とかで法整備ができないのですか。
福岡県（櫻木）	県の中の法整備を担当している部署と連携を取りながら進めていきたいと思えます。
久留米大学病院（山名）	地域がん登録が最終的なものであって、それまでは各病院でやっていくということで、住民票照会も県がやってくれて90%に持っていくのが一番いいことである。県の地域がん登録が必要だということです。がん登録というのは個人情報ではないので、県の予後調査ができるのか調べてほしい。
九州大学病院（水元）	先日の研修会で、地域がん登録は法律化されているので予後調査はできるが、地域がん登録で集めた予後調査のデータは院内がん登録には出せないということでしたので、各病院で独自に調査する必要があります。
福岡県（櫻木）	本年度中には、各病院が予後調査ができるような体制を作りたいと思えますので、協力をお願いします。
九州がんセンター（西山）	国立がんセンターからのデータを待って、専門部会を開催したいと思えます。名簿を添付していますが、各病院の担当者も替わられたことと思えますので、近日中に確認をさせていただきますので、協力をお願いします。

九州大学病院 (水元)	<p><b>③研修・教育専門部会</b></p> <p>(1) 九州大学病院がんセミナー 概要については別紙資料1にて説明。 11月12日に第12回がんセミナーを開催します。今年度の開催としては、第9回～第14回の2ヶ月に1回となります。参加者数は多い時で170名でした。</p> <p>(2) インターネット研修 概要については別紙資料2にて説明。 がんセミナーの動画配信です。それぞれの拠点病院にIDを配布してインターネットで見ただけのようにしています。</p> <p>(3) がん看護に関わる看護師の育成研修 概要については別紙資料3にて説明。 参加者22名で別添プログラムにより育成研修が行われています。9月1日にて研修は終わりました、12月22日に最後の講習会が行われる予定です。</p> <p>(4) 福岡県コメディカルスタッフがん医療研修会 概要については別紙資料4にて説明。 昨年度から行っていますが、21年度も第1回を10月17日に開催しまして、第2回を11月7日、第3回を12月12日に開催予定です。参加者は第1回が113名で、第2回は199名、第3回は140名の予定です。まだ参加可能ですので、各病院での呼びかけをお願いします。</p> <p>(5) がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会 概要については別紙資料5にて説明。 「がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会」について、各拠点病院にアンケートを行いました。研修協力者の中で指導者講習会受講者が占める割合が十分ではなく、1人の協力者が4回、5回以上務めているため、今後良質の研修会を実施していくためには、指導者講習会受講者数を更に確保していく必要があると思われます。福岡県医師会からは単位型で開催することを要望されています。現況報告もありますので、来年10月までは一般型で行い、以後単位型でやるかを協議していくことになると思います。</p>
福岡県(櫻木)	<p>県単位で管理していくこととなりますので、単位型を行っているところを参考に、福岡県医師会の要望でもありますし、多くの医師に参加していただけるような体制を準備していきたいと思います。</p>
九州大学病院 (水元)	<p>各病院で来年10月までにもう一度、一般型で緩和ケア研修会を行ってもらうこととなります。当院は第2回を22年1月30日、31日で開催します。各病院で指導者講習会受講者を増やしてもらうようお願いいたします。</p> <p>(6) Medical Social Worker 研修会 概要については別紙資料6にて説明。 研修部会ということで、MSWの方達に研修の場を与えるために計画しました。 11月10日募集締め切りで11月20日に開催を予定しています。この研修会はMSWの方達の自発的な研修会ということで行ってまいります。連携パスにどう関わっていくかを議論してもらえればと思います。</p> <p>(7) 九州大学病院がんセンター市民公開講座 概要については別紙資料7にて説明。 10月11日に市民公開講座を開催しました。</p> <p>(8) 院内がん登録普及啓発事業 概要については別紙資料8にて説明。 院内がん登録普及啓発事業ということで、拠点病院以外の12病院に院内がん登録をお願いしました。1年間で4565件が収集できました。(分析結果については別紙を参照)</p>
九州がんセンター(院長) 九州大学病院 (水元)	<p>来年度の院内がん登録普及啓発事業の予算はいかがですか。</p> <p>来年度も予算をもらって、新たに院内がん登録をというところもあるので、新規に契約をして行っていきたいと思います。</p>

九州大学病院 (院長)	<p><b>4) 九州大学病院 新外来診療棟の紹介</b>  概要は別紙にて説明。  9月28日、新外来診療棟がオープンしました。  研修・教育部門を担当していきますので、今後もよろしくお願ひします。</p>
九州がんセンター (院長)	<p><b>5) その他</b>  <b>①福岡県がん診療連携協議会次回開催予定 (案)</b>  次回は持ち回りということで、久留米大学病院にお願いしています。22年2月15日と22日に場所を押さえてもらっていますから、追って各病院に連絡したいと思ひますので、スケジュールを空けておいて下さい。</p>
九州がんセンター (院長)	<p><b>6) 閉会の挨拶</b>  これをもちまして平成21年度第2回福岡県がん診療連携協議会を閉会いたします。</p>

